

サーキット・ライダー 2008年 4月号

クリスチャンとして生きる

人を裁くな。あなたがたも裁かれないようにするためである。あなたがたは、自分の裁く裁きで裁かれ、自分の量る秤で量り与えられる。

マタイ 7 : 1 - 2 .

以下の二つの声明文はニューヨークタイムズに掲載されたものです。初めのは「福音とユダヤ人」と題し多くの福音教会、神学校の人々が連なって出した文で3月28日(金)に掲載され、二つ目は4月2日(水)にUnited Church of Christ(合同キリスト教団)が出した声明です。私がどちらにより心動かされるかは私を知る方には一目瞭然ですが、皆さんはいかがでしょう？

THE GOSPEL AND THE JEWISH PEOPLE, AN EVANGELICAL STATEMENT

As evangelical Christians, we want to express our genuine friendship and love for the Jewish people. We sadly acknowledge that church history has been marred with anti-Semitic words and deed; and that at times when the Jewish people were in great peril, the church did far less than it should have.

-We pledge our commitment to be loving friends and to stand against such injustice in our generation. At the same time, we want to be transparent in affirming that we believe the most loving and Scriptural expression of our friendship toward Jewish people, and to anyone we call friend, is to forthrightly share the love of God in the person of Jesus Christ.

-We believe that it is only through Jesus that all people can receive eternal life. If Jesus is not the Messiah of the Jewish people, He cannot be the Savior of the World (Acts 4:12).

-We recognize that it is good and right for those with specialized knowledge, history and skills to use these gifts to introduce individuals to the Messiah, and that includes those ministries specifically directed to the Jewish people (1 Corinthians 9:20-22).

-We deplore the use of deception or coercion in evangelism; however, we reject the notion that it is deceptive for followers of Jesus Christ who were born Jewish to continue to identify as Jews (Romans 11:1).

We want to make it clear that, as evangelical Christians, we do not wish to offend our Jewish friends by the above statements; but we are compelled by our faith and commitment to the Scriptures to stand by these principles. It is out of our profound respect for Jewish people that we seek to share the good news of Jesus Christ with them, and encourage others to do the same, for we believe that salvation is only found in Jesus, the Messiah of Israel and Savior of the World.

福音キリスト者として、私たちはユダヤ人に純粋な友愛を表明します。私たちは教会が歴史の中で反ユダヤ人差別を行い、ユダヤ人が危機に見舞われていた時ほとんど何もしなかったことを認め遺憾に思います。

・私たちは誓約します。友を愛し、今の時代にこのような不正があればそれを正すことを。同時に私たちはユダヤ人に愛と聖書的である友情を公に誓います。また誰でも私たちが友と呼ぶ人へは率直にイエスキリストに現された神の愛を分かち合うことを誓います。

・私たちは永遠の命に至る道はイエス・キリストだけと信じます。もしイエスがユダヤ人の救い主でないのなら、彼は世界の救世主にはなれません(使徒4:12)。

・私たちは知識、歴史、技術などにおいて救い主を人々に伝える賜物をもっている人たちを重んじます。その人たちの中にはユダヤ人への伝道をする人たちも含まれています(1コリント9:20-22)。

・私たちは欺きや強制が伝道に使われることは認めませんし遺憾に思います。ですから、生まれながらのユダヤ人が改宗してキリスト者になっても、そのままユダヤ人としてのアイデンティティーを保つとしたら、それは欺瞞であるという見解は受け入れません(ローマ11:1)。

ここに私たちは福音派キリスト者として友であるユダヤ人を上述の誓約により、差別迫害することは一切望んでいないことを宣言します。しかしながら私たちは自分たちの聖書への信仰と決意から以下のことをなさねばなりません。私たちはユダヤ人へ深い敬意を払いますが、イエスこそイスラエルと世界の唯一の救い主であるという福音をユダヤ人にも宣教していくと共に、他の人々(キリスト者)にも同様にユダヤ人に伝道することを励まし勧めたいと思います。

UNTITLED

Much has been said about the United Church of Christ in recent weeks, much of it hurtful for many in our country, including members of Trinity UCC in Chicago. That is why we are eager to share the broad and diverse story of the United Church of Christ, one that we celebrate.

With all Christians, we rest in God's amazing grace and hear God's voice in the words of Scripture. Yet, the UCC is unique to some because we do not require uniformity of belief. We are a church of open ideas, extravagant welcome and evangelical courage. Our passion for democracy extends to both government and church, where decision-making rests within each congregation. We support liberty in our pulpits, just as we affirm the individual conscience of our 1.2-million members to agree, disagree and wrestle with life's biggest questions in a spirit of love.

Our story is this nation's story. We are the people of the Mayflower. More than 600 of our 5,700 congregations were formed before 1776. Eleven signers of the Declaration of Independence were members of UCC predecessor bodies.

As early abolitionists, we came to the aid of the Amistad captives and founded hundreds of schools across the South after the Civil War. We were the first mainline church to ordain an African-American (1785), a woman (1853) and an openly gay pastor (1972). We were also the first to form a foreign mission society (1810). Our multi-ethnic membership includes persons from every immigrant group, as well as native people and descendants of freed slaves.

Our unity is not dependent upon uniform agreement, but in our shared allegiance to Jesus Christ. Ours is a risk-taking church, because ours is a risk-taking God.

ここ数週間シカゴ・トリニティー合同キリスト教会への心無き中傷を含め、合同キリスト教団(UCC)について多くの批判的議論が交わされています。だからこそ私たちは合同キリスト教団の広く深く多様性に満ちた存在意義をここに心から分かち合いたく思います。

全てのキリスト者と共に私たちは神の驚きに満ちた恵の内にあり、神の声を聖書の御言葉に聞きます。しかし合同キリスト教団は独特の立場を有しています。それは合同キリスト教団は個々の教会また個人に統一性を要求しないということです。私たちは開かれた考え、細心のもてなしと福音的勇気を持った教会です。私たちの民主主義への情熱は、教会への影響がある諸々の決定がなされる場合には、政府と教会双方に向けられています。私たちは説教者の自由を支持すると一方、教会の諸々の問題に賛成、反対の違いがあっても愛の精神に従っ

て120万人の会員の良心を重んじます。

合同キリスト教団の物語はこの国（アメリカ）の物語でもあります。わたしたちはメイフラワー号移民の子孫で、5700ある教会のうち600以上が1776年の建国以前に創立されました。建国宣言を高らかにうたった人々の内11名は合同キリスト教会の会員でした。奴隷制廃止支持者として私たちはアミスタッド奴隷船のアフリカ人たちの解放を支援し、南北戦争後は数百もの学校を南部の州に（貧しい黒人たちの為）創立しました。私たちはアメリカの正統派キリスト教会では初めて1785年に黒人牧師を、女性牧師は1835年にそして同性愛牧師は1972年に承認しました。また私たちは1810年に、やはりアメリカで最初に外国への宣教団体を設立しました。合同キリスト教団は多様な人種で構成され、その中には黒人奴隷の子孫もいれば、ネイティブ・アメリカン（インディアン）、全ての移民が含まれています。

私たちの団結は統一性を強いることにあらず、イエス・キリストへの献身忠誠を分かち合うところにあります。私たちは危険冒険を恐れない教会です。何故なら私たちの神は危険冒険を恐れない神だからです。

直訳を試みましたが英語表現の曖昧さから部分的に意識になりました。ご了承ください。私は合同メソジスト教団に属する者ですが、この二つの宣誓を読んだ後、実に合同キリスト教団の姿勢に共鳴しました。教会またキリスト者はともすると排他的になりがちですが、開かれた教会、キリスト者として、弱い立場に置かれている人々をいたわり、自分と立場の違う人を尊重し認め、「同じ信仰告白をし同じ聖餐式をしなければならぬ」と言って同胞を弾劾するのではなく、絶えずイエスの言葉、行いに我々がすべき事を学ぶ真摯な姿勢をとるべきだと反省しました。ユダヤ人を「友」と呼びながら「自分たちだけが正しい」と彼らの信仰を認めない教会、聖餐のやり方の違いで同胞を弾劾する教会、同性愛者を締め出す教会、どれも私には不条理と思えてなりません。キリストの弟子たち、初代教会の人々は種々様々な背景から来ていたのを忘れてはなりません。 吉松 純

礼拝は日曜日午後4時です。Jr. 教会（日曜学校）も4時からです。

- 4月 6日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会：春の七草探し、七草粥、餅作り
- 13日：礼拝、Jr. 教会：ハンドベル練習
- 20日：礼拝、Jr. 教会：メモリアル・ガーデン花壇手入れ
- 27日：礼拝、Jr. 教会：メモリアル・ガーデン花壇手入れ、ハンドベル
- 5月 4日：礼拝、聖餐式、Jr. 教会：子供の日工作

行事予定と報告

- * 毎週月曜日、午後7時：ハンドベル聖歌隊（英語）。
- * 毎週月曜日、午後7時—9時、祈りのため教会を開けています。8時30分から牧師と共に御言葉を分かち合い祈ります。
- * 毎週火曜日、午前10時：聖書研究会（英語）。パウロの書簡を学びます。
- * 毎週木曜日、午後7時：聖歌隊（英語）。英語が苦手でも讃美できます。どなたも歓迎。
- * ユース（中高生会、英語）は第二、第四日曜日の午前9時。

感謝

- * 3月23日復活祭礼拝で川俣千枝子姉が受洗されました。おめでとうございます。昨年、川俣姉の闘病生活を祈りと献金で支えて下さいました皆様にご心から感謝しこの喜びの報告をいたします。
- * ウェストチェスター・ユニオン日本語教会牧師兼 SMJ ディレクターの浅田容子牧師が任期を終えられて4月14日に帰国されます。先生はサマーキャンプを始め、去る3月30日の聖日礼拝でも私たちの小さな群れに説教を取り次いで下さいました。浅田先生の御帰国、また新しい地でのお働きの上に神の祝福があることをお祈りいたします。
- * 浅田先生の後任として相良昌彦牧師が4月7日に日本から来られます。相良先生はキャンプでご奉仕下さり、パークリッジでも説教をして下さいました。相良先生とユニオン教会、SMJの上に豊かな祝福と導きがありますようお祈りいたします。

御協力お願い致します。献金のあて先は UMC-JA とし、寄付のあて先を Note に記してください。

- * 合同修養会（ファミリー・キャンプ）とサマーキャンプの為
- * ハーベスト・タイム放映の為、献金、お祈りのご協力をお願いいたします。
- * 消印のついた切手の周り1センチの余白を残して切り取って下さい。切手は日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）に送ります。JOCS 海外に医療関係者を送ると共に医療関係者の育成をしています。
- * ケニアの恵まれない子供達やエイズの患者さん為に特別献金をしています。ご協力下さい。
- * パターソンの St. Philip 伝道と社会福祉団体 CUMAC/ECHO の為に、どちらもメソジスト教団に属し、貧しい人達の為の炊き出しと路傍伝道をしています。

連絡先：英語オフィス (201) 391-5499 日本語オフィス兼ファックス (201) 505-0347

吉松牧師 (201) 391-2208 junyoshim@optonline.net 代表役員：松尾孝恵姉 Takae17A@aol.com

教会学校担当：吉松 泉姉 izumi.yoshimatsu@gmail.com ホームページ：<http://umc-japan.org>

英語のホームページは www.umcpr.org です。サーキットとは違うメッセージも多く書いています。どうぞご覧下さい。